

ものづくり日本大賞(内閣総理大臣賞)受賞



賞状を授与され受賞の重みを実感

NIPPON東北支店の菅野公正機械担当課長が、第5回ものづくり日本大賞(内閣総理大臣賞)を受賞した。33年間、現場の第一線で施工に当たり、「現場目線」をフィードバックして、さまざまな技術開発に携わってきた実績が高く評価された。

受賞決定の一報を受けた時には「いたずら電話か」と思い、実感がわかなかったが、18日の表彰式でメダルと賞状を安倍晋三首相から授与されたいまは、受賞の重みを実感し、「今後も継続して現場の創意工夫を生かしていきたい」と意気込む。同社の社員がもの

現場目線の技術開発が評価

づくり日本大賞を受賞するのは初めて。

菅野氏は、舗装現場の第一線で技能を発揮し、大型工事などに従事。現場から出た創意工夫を技術開発に反映してきた。

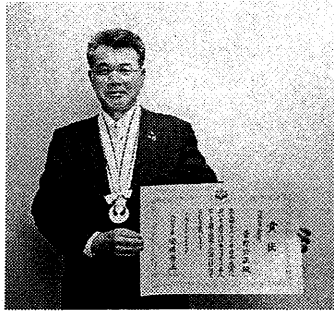
現場での経験が生かされた開発の1つに、日立建機と共同開発した「リバーシブルローラF&F」がある。

運転席を前進方向と後進方向に2つ設置し、移動する方向に運転席を180度切り替えることでオペレーターは常に前進の方向で運転ができる。

過去の教訓を踏まえ「仲間をにげがをさせたくない」という強い思いが開発のきっかけになった。オペレーターの死角をなくすことで、作業員やほかの機械との接触を防ぎ、これまでに現場の安全性向上に大きく貢献している。

ものづくり日本大賞で内閣総理大臣賞受賞

NIPPOの菅野公正東北支店機械担当課長が、第5回「ものづくり日本大賞」の内閣総理大臣賞を受賞した。自動車のテストコースや高速道路の舗装工事の最前線に立ち、前・後進とも進行方向を向いたまま操作できる転圧ローラーを発明したことに加え、施工の改善・工夫の功績なども高く評価された。18



NIPPO 東北支店 菅野 公正機械担当課長

日に首相官邸で行われた表彰式で安倍晋三首相から賞状と記念メダルが授与された。

表彰式では首相から「おめでとう」と声を掛けられ、「私にいただいたのいいのか恐縮しています。メダルが重くて首が折れそうです」と菅野氏。社内ではNIPPO初の同賞受賞者として水島和紀社長らが盛大にねぎらってくれたという。

菅野氏は、優秀施工者国土交通大臣顕彰受賞者（建設マスター）にも選出されている。入社34年目、現場経験が長く、NIPPOが日立建機と共同開発し

た大型2次転圧ローラー「リバーシブルローラーF&F」の発明者の一人でもある。

通常のローラーは、運転席のオペレータが体をねじり、駆動輪のある後ろを向いて操作するため、死角にいる作業員とローラーが接触する事故を起こす危険がある。リバーシブルローラーF&Fは、前後双方に操作盤とハンドルがあり、常に前を向いて操作できるため、死角が生じにくい。「仲間が仲間を傷付ける事故をなくすために何かできないか考えた」という。運転席が180度完全に向きを変えない限り、車両は動かず、回転を待つて前・後進のギアがチェンジする機構など、さまざまな安

全対策を取り入れてある。開発時には、二つのハンドルの操作感をそろえるために油圧制御のバランス調整に苦労した。大型工事で使用した実績があるが、車両検定には適合しないため、公道は走れず、隣接工区や待避場所に移す際には輸送車両を手配する必要がある。安全確保に効果的な技術だけに、利用が促される措置があった。でもよかった。

前向き運転ローラー開発 真摯に改善活動継続

「現場で汗を流す者がこつこつと恩賞を受けられるとは思っていなかった。真摯（しんし）に改善活動を続けたい」。菅野氏は、安全対策をはじめ現場の発案を形にする活動にこれからも力を入れていきたいという。

ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞
を受賞した

NIPPON東北支店機械担当課長

菅野の公正氏



ものづくりの第一線で活躍し、特に優秀と認められる人物等を顕彰する「ものづくり日本大賞」内閣総理大臣賞を受賞、「ものづくり名人」として優秀と認められ表彰された。建設マスターとして

12年度優秀施工者国土交通大臣顕彰の受賞を受けてのもの。

舗装工事の第一線で技能を發揮し、テストコースや大型工事に従

ままれた感じだった。多くの申請の中から、現場「線」自分に声がかかるとは思ってもおらず、もろってよいも

また、社長からも労いの言葉をかけられるなど「徐々に実感がわいてきた」と現在の心境を話す。

発明者の一人であり実務を担当したリバー

ら、前進・後進においても「常に正面を向いて運転・操作でき、ワイドな視界を確保できる」ように改良。前進・後進用のハンドルを対に配置し、その間にあるシートは180度回転できる機構を有する。進行方向の切り替えスイッチとシートが連動し

「両装置の方向が揃わないと稼働できない」といった安全システムを構築している。開発にあたり「前進・後進でのハンドル操作の感覚の違いが指摘され、その改善に苦労した」と振り返る。今後も「継続していくことが大事で、真摯に活動を行っていきたい」と現場環境改善への思いを熱く語る。



真摯に改善活動を継続

上に取り組んでいることが評価された。

受賞に際し「最初連絡を受けた時は狐につ

首相から賞状等が手渡され「おめでとうと言葉をかけられたことに感慨を覚えたという。

摘されていた」ことか

シブルローラー F&Fは、2次転圧で使用される大型ローラー。構造特性から「後ろ向きでの運転操作が通常であり安全の確保が指摘

摘されていた」ことか